

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-1	土田漁港	水産	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	海岸環境整備事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいるため、現在、海岸環境整備事業により整備中である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然景観資源に指定されている。
利用面	漁港利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	漁港東側の砂浜海岸。背後は民家が建ち並び、前面は海岸環境整備事業により階段式護岸等が整備中である。海水浴場として利用されている。
海岸状況	砂浜 礫浜
利用状況	海水浴
背後地	住宅地 山林 観光地
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	突堤・ヘッドラント
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場（アマモ場・海中草原）	
		藻場（ガラムモ場・海中林）	○
社会環境要素	海岸景観（法的規制区域）	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区（特別保護区）	
	海岸景観（その他）	自然景観資源	○
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用（産業面）	漁港	○
		港湾	
	海辺利用（レクリエーション面）	海水浴場	○
備考			
自然景観資源：青浦～西平原海岸			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-2	津田漁港	水産	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいること、越波が激しいことから、その対策が必要である。
環境面	特になし。
利用面	漁港利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	漁港の西側に位置する砂浜海岸。背後は民家が密集、西端ではJR線が沿う。前面は護岸、離岸堤が整備されている。
海岸状況	砂浜 礫浜
利用状況	不明
背後地	住宅地
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	離岸堤
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カラムシ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	景観計画区域	
		自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-3	遠田港	国土(港)	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	無施設区間では、侵食が進んでいるため、その対策が必要である。
環境面	特になし。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	港の南側に隣接する礫浜海岸。背後は山林。遠田港から続けて護岸整備がされている。この護岸と西側の民有(JR)護岸の間は無施設で、侵食が進んでいる。
海岸状況	礫浜
利用状況	なし
背後地	山林
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カラム藻場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	景観計画区域	
		自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-4	益田港	国土(港)	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	新規箇所を含め、侵食対策を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	高津、中島両地区とも侵食が進行しているため、その対策が必要である。現在、高津地区では、侵食対策事業により整備中である。
環境面	特になし。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	高津川河口に位置する砂浜海岸。背後は保安林。西側の高津地区では、現在、海岸整備事業にて整備中である。
海岸状況	砂浜 礫浜
利用状況	海水浴
背後地	商業地 工業地 住宅地 山林
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	離岸堤
飛砂対策	あり

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カラムシ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	景観計画区域		
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-5	持石港	国土(港)	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいるため、その対策が必要である。
環境面	特になし。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	持石海岸の中央部に位置する。背後は民家数件と後方に国道が走る。港は天然の岩と消波ブロックによりできている。既存の保全施設はない。
海岸状況	礫浜
利用状況	漁業
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	隣接
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	施設名
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (ガマモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-6	持石	国土(河)	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	環境整備事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいるため、現在、環境整備事業により整備中である。
環境面	自然環境要素として藻場がある。
利用面	海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況					
海岸保全区域の概況	直線状の礫浜海岸。通称、三里ヶ浜。背後の国道とJR線に沿って民家等が並ぶ。前面は緩傾斜護岸、T型突堤等が整備されている。現在、環境整備事業により整備中である。				
海岸状況	礫浜				
利用状況	海水浴				
背後地	住宅地	山林	観光地		
幹線道路からの距離	隣接				
アクセス道路	2車線以上				
地域からの要請	護岸および突堤の整備				
現況防護施設					
防護目的	侵食				
現保全施設	施設名	護岸	離岸堤	突堤・ヘッドランド	人工リーフ
飛砂対策	なし				

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カサモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	景観計画区域		
海岸景観(その他)	自然景観資源		
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-7	小浜	国土(河)	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいるため、現在、侵食対策事業により整備中である。
環境面	特になし。
利用面	海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	小浜漁港の東側に位置する砂浜海岸。西側は背後に民家が密集して、前面は消波工付護岸、中央から東側にかけては背後は保安林、前面は緩傾斜護岸が整備されている。
海岸状況	砂浜
利用状況	海水浴
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	護岸 潜堤・人工リーフ
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カサネ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	景観計画区域		
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-8	木部漁港	水産	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、利用面に配慮する。
防護面	老朽化により機能の低下しているおそれのある海岸保全施設が存在しているため、必要に応じその対策を行う。
環境面	特になし。
利用面	漁港利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	沖田川河口の砂浜海岸。直背後に民家が密集する。背後は民家が建ち並ぶ。
海岸状況	砂浜 礫浜 人工
利用状況	
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	施設名 護岸 堤・ヘッドラン 離岸堤
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カサネ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
		景観計画区域	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村	ゾーン名
6-9	飯浦漁港	水産	益田市	悠久の時をうたう浜ゾーン



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては、環境面、利用面に配慮する。
防護面	老朽化により機能の低下しているおそれのある海岸保全施設が存在しているため、必要に応じた対策を行う。
環境面	自然環境要素として特定植物群落があり、社会的環境要素として自然景観資源に指定されている。
利用面	漁港利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	島根県の最も西に位置する北北東に面した海岸。背後は民家が建ち並ぶ。
海岸状況	砂浜 礫浜
利用状況	
背後地	住宅地
幹線道路からの距離	500m～2km
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	施設名 護岸 堤・ヘッドラン 胸壁 離岸堤
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	○
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原)	
		藻場 (カサモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	景観計画区域		
	海岸景観(その他)	自然景観資源	○
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			
規模は小さいが海水浴利用もされている。			